⌘認定めぐる研究に予算／視機能機能障害／小池氏に厚労省回答

　厚生労働省が障害者政策総合研究事業として、千葉大学大学院山本修一教授の「視機能障害認定のあり方に関する研究」に研究費１４５６万円（今年度）を出すことが１９日までに分かりました。日本共産党の小池晃書記局長・参院議員の問い合わせに厚労省障害福祉部が回答したもの。

　視力や視野は正常でも、強烈な痛みやまぶしさなどで目を開け続けることができず日常生活が困難なのに、視覚障害と認められないでいる「眼球使用困難症」の人たちが障害認定の見直しを求めています。

　「眼球使用困難症と闘う友の会」の発起人の一人、Aさん（６８）は「ありがたいことです。患者は、見えないだけでなく痛みやしびれなどで日々苦しんでいます。研究が進んで、障害者手帳や障害年金が受けられるようになりたい」と語りました。